

# コミュニティ・スクールだより

## 第46号

令和6年12月20日

名張市教育委員会  
事務局発行



### 「コミュニティ・スクールの可能性」

～改めて学校運営協議会の役割とは～

#### 第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会 講演会より

11月13日開催の第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会に、栃木市の社会教育指導員、また文部科学省CSマイスターとしてもご活躍の鈴木 廣志さんをお招きし、ご講演いただきました。各学校運営協議会委員、教職員、保護者が参加し、講演の途中に何度か参加者同士の話し合いも交えながら、学校運営協議会の役割を改めて考えあう時間となりました。



「子どものことで最近うれしかったことは…」という話題。  
たくさんあって5分では時間がたりません😊

#### ～参加された方の感想より～

…私たちおとながもっと子どもに接すること、子ども主体の活動を考えていくこと、未来に続けていくこと、などコミュニティ・スクールの在り方を強く感じさせていただきました。

地域の人が学校（子ども）と関わることによってコミュニティ・スクールとして活性化されるという思いが強くなりました。いかに多くの人がそういう意識を持つ機会を与えられるかが重要だと思います。

コミュニティ・スクールは、学校をゴールとするのではなく、地域を育てることをゴールとする。この言葉が大変印象に残りました。

“ボランティアは活用ではなく、活躍”  
“CSは、学びの連続性”  
“出会わせたいおとなに出会わせる”など、心にとめておきたいキーワードがたくさんありました。  
本校の実態や、これからやりたいことと重ね合わせて聞かせていただきました。

これから本校の学校運営協議会で、委員全員の発言を増やし、より活発な熟議にしたいと思いました。

コミュニティ・スクールとは、学校の課題だけでなく、子どもの課題、地域の課題を学校・家庭・地域と一緒に考える仕組みであり、地域・家庭も学校のサポーターではなく、パートナーとして学校運営に参画することが重要です。

そして、関わる誰もが「この学校」ではなく、「わたしの学校」として当事者意識を持つことで、コミュニティ・スクールの可能性はさらに広がります。

(鈴木先生のお話より)

## 名張市小中一貫教育推進シンポジウム開催 ご参加ありがとうございました

11月24日に名張市小中一貫教育推進シンポジウムを開催しました。地域・保護者・教職員等、95名の参加がありました。市長挨拶の後、名張市子ども教育ビジョン及び小中一貫教育に係る行政報告をし、パネルディスカッションを行いました。パネリストに地域と保護者の代表、学校からは校長先生にご登壇いただき、それぞれの立場から9年間を見通した子どもの育ちについて語っていただきました。校長先生からは各中学校区でめざす子ども像の実現に向けて、地域・家庭と一体となって取り組んでいる学校教育活動の様子を子どもたちの具体的な姿をもとにお話いただきました。

つづじが丘小  
栢森校長

名張中  
山村校長

市PTA連合会  
柳会長

教育推進  
シンポジウム

箕曲地域づくり委員会  
中野会長



その中で、保護者代表の柳さんは「学校や地域の取組を理解し、連携することが大切。それが、子どもたちの成長につながる。」また、地域代表の中野さんからは「今後も地域が学校運営を支援していくことが必要。多くの方に学校支援に関わってもらい、地域も子どもたちの9年間の成長を見守っていきたい。」とお話をいただきました。子どもの学びと育ちは地域が支えていく、子どもを地域ぐるみで育てていくというコミュニティ・スクールを基盤とした名張市の小中一貫教育の在り方を改めて認識する機会となりました。

パネリストのみなさま、ご参加のみなさま、本当にありがとうございました。

#### ～南中学校区と名張中学校区の取組から～

小中あいさつ運動

子どもフェスタ参画

職場体験学習

居場所づくり



南中学校区

名張中学校区

小学校：自ら考えて行動する力を育成  
中学校：地域貢献の場で活躍する姿へ

小学校：学びや遊びの中で地域の方と関わる  
中学校：子どもが安心して活動できる場に